



住民アンケートの結果はどのように生かされるのか。

# 情報通信基盤整備事業 一問一答に見る「ゆくえ」

this month  
HighLight  
1  
今月の注目

大勢の報道陣が詰めかける中、住民有志の会が町選挙管理委員会に提出した町長の解職と町議会の解散を求める署名簿。情報通信基盤整備事業を巡り、町が揺れています。現状について一問一答で答えます。

## 情報通信基盤整備は必要か

人口が少なく、高齢化率も高い本町の将来にとって、本事業を欠かすことはできないという考えは変わりません。民間事業者参入が期待できない中、生活向上や行政サービス向上を図るためには、町が事業主体となって整備する以外に方法はないと考えてきました。

合併初期から、町の一体化を進めたり、生活の格差をなくすためにも必要不可欠であり、行政の責任でもあると考えてきたわけです。

## 整備されないと、将来町はどうなっていくか

今後、現在のよう状況が続けば、国が情報通信技術の活用によって、特に進めようとしている「電子政府・電子自治体分野」「医療・健康分野」「教

キーワードは「情報共有」  
確かな情報入手提供、共有し、  
その上で議論に入りたい



育・人財分野」での格差は確実に広がるものと考えています。国策「光の道構想」の推進に

より、2015年頃を目標として超高速ブロードバンド基盤の整備が全国的に進められています。できる限り早い時期に、再度、町民の皆さんも納得できる計画を立てたいと考えています。

## 最低限どのレベルが必要か

国の方針では、教育や医療分野に必要とされる通信速度は「30Mbps以上」とされています。町が考えなければならぬ条件も、これと同等のものです。

今の状況では、この条件をクリアする整備が可能であるかは検討が必要です。

しかし、将来この町が取り残されることなく発展していくためには、町全域でこうした条件での環境整備は必要だと考えています。

## 無線で整備するとうり選択は

無線方式での整備は、いずれも民間の通信事業者のサービスの提供を受けなければならないこととなります。「採算性の確保」を大前提とする民間サービスで、少人数の集落までカバーしてもらえるのか協議していく必要があります。

そう遠くない将来、この町の一部のエリアも、無線方式で整備されていくと予想されています。それによって、さらに町内の格差は広がってしまいます。また、携帯電話へのメール送信などで町からのお知らせを皆さんに届けることはできませんが、高齢者などにとっては、機器の取り扱いがより難しくなってしまう可能性があります。

## 今後の計画の進め方は

計画の検討を進める前に、まず、NTTの光化の見通しやその他通信事業者のサービス提供について、確かな情報入手し、皆さんと共有する必要があります。情報共有は何にも優先されるべき事項です。

情報を共有した上で、本町にはどんな基盤が必要なのか、皆さんが求めるものは何かといった議論に入りたいと思います。

皆さんの意見を聞き、皆さんとともに進めていくのがまちづくり。

# まちづくりの主演は町民 総合計画 町民ワークショップが終了

これまで約5カ月間にわたって議論を重ねた総合計画町民ワークショップ。11月24日に最後のワークショップが開かれ6つの分野に分かれた各グループごと、意見をまとめました。

this month  
HighLight  
2  
今月の注目

総合計画町民ワークショップ第6回は11月24日に開かれました。7月から始まったワークショップもいよいよ最終回。この日は、第5回に続いて総合計画前期基本計画に掲載されている「町民の取り組み」について議論を交わしました。町民の生の声を拾い上げるワークショップとは、どんな取り組みだったのか。これまでの流れを振り返ります。

## 【これまでの流れ】

第1回、初めて顔を合わせた参加者たちは、総合計画の見直し・後期基本計画策定などの説明を事務局から受けたあと、議題である「自分たちが町のためになっていること」について6つのグループに分かれて話し合いました。

「町内で買い物をするよう心がけている」「町外の知人を招いて観光案内する」「川根茶を東北や関東の友達に送っている」「地域の人のとの関わりを大切にしている」などの意見が出され、第3回以降の議題「町民の取り組み」のための資料としました。

第2回では「理想的なまちの姿」について検討しました。「自然豊かなまち」「安心して生活できるまち」「希望があふれるまち」「観光が盛んなまち」「交

通網が発達したまち」「食べ物がおいしいまち」「教育が充実したまち」「便利でワンパクなまち」「稼げるまち」「子育てバンザイのまち」「住民参加のまち」などの意見が出されました。

3回以降は「町民の取り組み」について話し合いました。「自分たちが町のためにしていること」として第1回でまとめた意見を参考に、理想のまちづくりを進めるためには「私たちがどのようなことに取り組んだらいいのか」といった内容について議論を交わしました。

前期基本計画に掲載されている「町民の取り組み」に追加・変更を加え、6グループ全てが意見をまとめあげることができました。

## 【まちづくりの今後】

「まちづくり」は行政や議会だけで推進していくものではありません。主演はあくまで町民の皆さんです。皆さんの意見を聞き、皆さんとともに進めていくのがまちづくりのあるべき姿だと考えます。

今後、町民ワークショップの意見は、総合計画策定庁内検討委員会および総合計画審議会ですらに検討を重ね、最終的には3月に策定される新しい総合計画に反映されます。